

# 第36回漢方学術大会 プログラム

平成28年11月20日（第3日曜日）

午前9時50分～午後5時40分

慶應義塾大学薬学部・芝共立キャンパス1号館

マルチメディア講堂 <東京都港区芝公園1-5-30>

9:50	開会の辞 <大会委員長：三上 正利>	
9:55	【分科会発表】 <座長：川合 一正・細野美佐子>	
	分-1 本草分科会「神農本草経における風寒湿痺と四気五味について」	会員 木俣 高博
	分-2 雑学分科会「中国生薬探索の旅（報告）」	会員 河合 元宏
	分-3 薬局製剤分科会「薬局製剤麻子仁丸の製造における麻子仁の修治及び製丸方法について」	会員 岡崎 洋子
	分-4 薬草観察分科会「観察会で見られたバラ科植物の形態的特徴」	会員 熊井 啓子
	分-5 初級者分科会「総合講座受講のきっかけと薬用植物園見学の感想」	会員 小林 御幸
	分-6 傷寒論分科会『傷寒論・金匱要略』と『薬局製剤指針』の剤形の比較	会員 高山 留美
11:10	【一般発表Ⅰ】 <座長：岡崎 仁子・飛奈 良治>	
	般-1 「玉屏風散の服用にてアレルギー性鼻炎および夏場の多汗が改善された症例」	会員 石綿 智恵
	般-2 「黄檗剥ぎ体験とオウバク染色」	会員 伊藤 亜希
	般-3 「漢方薬のテープ剤の応用・芍薬甘草湯油剤の貼付テープ剤が有効であった手首腱鞘炎」	会員 今井 淳
	般-4 「漢方精油を用いたセルフケアの提案」	会員 倉津 三夜子
12:00	————— 休 憩 ・ 昼 食 —————	
13:00	【特別講演Ⅰ】 <座長：今井 淳>	
	『日常臨床に役立つ現代の口訣』 東京女子医科大学・東洋医学研究所 木村 容子 先生	
14:15	————— 休 憩 —————	
14:30	【一言治験例】 <座長：加部 恵造・中村 成代>	
	言-1 「木防已湯の使用経験」	会員 庄子 昇
	言-2 「薬局製剤乾姜人参半夏丸の冷えに対する効果」	会員 八木 多佳子
	言-3 「葛根湯オイルが肩こりに有効した一症例」	会員 高山 留美
	言-4 「現代美容と漢方美容の違い」	会員 吉野 道夫
15:00	【一般発表Ⅱ】 <座長：熊井 啓子・庄子 昇>	
	般-5 「漢方初学者教育（式）：薬学部五年生」	温知会 庄司 良文
	般-6 「同窓生でつなぐ漢方の魅力 一治打撲一方を通して一」	会員 佐藤 喜和子
	般-7 「ヨクイニンの疣治療 一江戸時代から現在まで一」	賛助会員・小太郎漢方製薬株式会社 米光 康
	般-8 「中国における中医薬・生薬の最近の政策について」	賛助会員・(株)ウチダ和漢薬 川崎 武志
	般-9 「日本における生薬生産 ～北海道編～」	賛助会員・(株)ツムラ 笠原 良二
16:00	————— 休 憩 —————	
16:15	【特別講演Ⅱ】 <座長：小根山 隆祥>	
	『生薬国内栽培・東京生薬協会の取り組み』 公益社団法人 東京生薬協会 清水 虎雄 先生	
17:35	閉会の辞 <大会実行委員長：緒方 勝行>	
18:00	懇親会 会場：東海飯店	

\*都合により、会場及び発表順等に変更が生じる場合がありますのでご了承ください。